

「ワーク・ライフ・バランス」を知っていますか？
平成21年12月調査
対象：都留市内150社
回答：87社(回答率58%)

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度は市内企業で約3割。すでに導入している企業などは、どんな取り組みをしているのでしょうか？

現状において「ワーク・ライフ・バランス」の企業認知度は、決して高いとは言えません。市が行ったアンケートでも、市内企業におけるその認知度は、3割にとどまっています。こうした認知度の向上などは行政の担う役割ですが、今後、地域に浸透させていくためには、企業や働く方などもこの内容を理解し、意識改革を図っていかねばなりません。

では、すでに「ワーク・ライフ・バランス」に取り組んでいる企業は、具体的にどのようなことをしているのでしょうか。すでに導入している企業の実践内容を見てみましょう。

事例 コクヨ株式会社の取り組み



- ・社員の多様な感性が事業に活かすることで、ビジネスの拡大を促す。
- ・ワークライフバランスが実現することで、社員がやりがいを持つ。
- ・社会と社員に対して、やさしい企業となることができる。

図出典：コクヨ株式会社ホームページ

「ワーク」を発定
て、仕事と仕事以外
の生活を送ること
で、人脈作りなど
に活用し、仕事に
元していく環境を
つくるためのプロ
ジェクトを平成20
年に発足しまし
た。メールでお互
いの仕事量・優先
度を他のメンバー
と共有し、自分の
仕事の進め方につ
いて課題を出すな
ど働き方に対する

●「働き方見直しプロジェクト」を発足

コクヨが考えるＷＬＢは、「育児など限られた一部の人への福利厚生」ではなく、様々な価値観やライフイベントを持つ社員が十分に活躍できるように、企業の発展に向けた経営戦略」です。ＷＬＢを推進していくためには、みんながその言葉の意味を正しく理解することが必要です。そのため、管理職を皮切りに社員全員にしっかりとした意識を持つてもらうためのセミナーを開催しています。

●ワーク・ライフ・バランス(WLB)セミナー実施

コクヨが考えるWLBは、「育児など限

意識の変革に取り組んでいます。

●「くるみんマーク」の取得

コクヨは少子化の改善を推進する厚生労働省が次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づき、「子育て支援に積極的な企業・団体」に交付している「くるみんマーク」を取得しています。男性の育児休業な



くるみんマーク

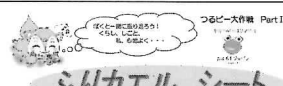
達成しています。

●育児休業期間の延長

育児休業期間〓1歳4月末または1年半どちらか長い期間(4月産まれの場合は2歳4月末まで)。働く社員のニーズをもとに、保育園の入園時に必要な「ならし期間」を考慮し4月末まで休業取得が可能です。また、一部の事業会社では男性も育児休業を取得できるよう育児休業を一部有給化にしています。

●短時間勤務の導入

グループ各社の業容に合わせて短時間勤務制度を導入しています。



ふとした時に自分の行動を振り返ってみませんか。

NO	項 目	はい	いいえ
	生活実態調査		
1	調査状況はいいですか		
2	詳細や自己採集などの情報が自分たちの世帯に当てはまりますか		
3	健康診断、がん検診などに参加しましたか		
4	新しい人とのつながりが実際にありましたか		
5	自分のための生活の改善ができましたか（食事、服装、生活）		
	住居実態調査		
6	今は住居はいい環境かどうかと思う。よりよい環境のものを自分で考えることができたか		
7	今後住居の改善のために必要な、ポイントやノウハウを知ることができたか		
8	住居の改善の目標を立てることができたか		
9	目標までの期間・方法は、ありますか		
10	住居改善計画書を作成して提出していますか		

「都留市ワーク・ライフ・バランス研究会」による、「ふりカエルシートの実践・検証」

「ワーク・ライフ・バランス」は、さまざまな関係者が意識を持つて取り組むことが重要ですが、自分自身の「気づき」も非常に重要になってきます。

この「気づき」のきっかけとして、都留市ワーク・ライフ・バランス研究会では、「ふりカエルシート」というチェックシートを作成しました。

このシートを記入して、自分の行動を振り返ることにより、私生活や職場の中で、自分自身の生活が、納得できるような形で充実しているかどうかを確認できるようになっています。また、裏面には、うまくいかない場合のアドバイスも記入してあるなど、工夫してあります。

今年度、この「ふりカエルシート」を市役所内で活用し、その効果を検証します。そして、いずれは市民の方々にも活用していただけるよう、取り組んでいきたいと考えています。

岡合先 政策形成課 政策担当